

第 29 回大田区中小企業 新製品・新技術コンクール

【募集要項】

大田区中小企業が開発した優れた新製品や新技術を表彰することによって、区内中小企業の技術力・開発力を広くアピールし、大田区産業の振興を図ります。

受賞特典	1. 「おおた工業フェア」への無料出展 2. お好きな展示会への無料出展 3. 当協会広報誌・新聞等での広報		
表彰各賞	最優秀賞 [1件] 副賞 30 万円	優秀賞 [2件] 副賞 10 万円	奨励賞 [6件] 副賞 5 万円

○募集期間

平成 29 年 7 月 3 日（月）～7 月 31 日（月）※当日消印有効

<申請書は大田区産業振興協会ホームページからダウンロードできます>

○お問合せ先



公益財団法人大田区産業振興協会

〒144-0035 大田区南蒲田 1 丁目 20-20 大田区産業プラザ PiO 3F

担当：ものづくり・イノベーション推進課 イノベーション創出担当

TEL:03-3733-6294 FAX:03-3733-6496 MAIL:innovation@pio-ota.jp

～ 共催：大田区・（公財）大田区産業振興協会 後援：日刊工業新聞社 ～

目次

I. 事業について

1. 事業概要	2
2. 実施概要	2
3. 対象者	2
4. 対象製品・技術	3
5. 申請方法	3
6. 審査	4
7. 表彰	4
8. 受賞特典	5

II. 申請書記載例

III. 申請事前チェックリスト

I. 事業について

1. 事業概要

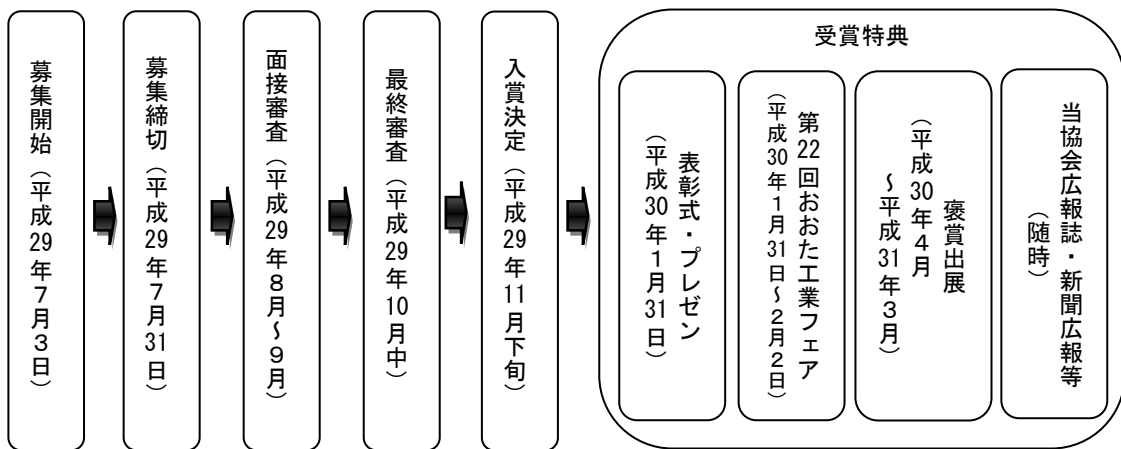
大田区中小企業が開発した優れた新製品や新技術を表彰することによって、区内中小企業の技術力・開発力を広くアピールし、大田区産業の振興を図ります。

2. 実施概要

(1) 募集期間

平成 29 年 7 月 3 日（月）～7 月 31 日（月） ※当日消印有効

(2) 事業スケジュール（予定）



3. 対象者

大田区に事業所を有し、1年以上の事業実績がある中小企業及び中小企業グループ（構成員の半数以上が区内に事業所を有してこと）

＜中小企業者の定義＞

次のいずれかに該当する者（中小企業基本法第2条に基づく）

業種	資本金 及び 従業員
製造業、建設業、運輸業、その他	3 億円以下 または 300 名以下
卸売業	1 億円以下 または 100 名以下
サービス業	5 千万円以下 または 100 名以下
小売業	5 千万円以下 または 50 名以下

※申請対象とならない場合

- ①第 28 回コンクールの最優秀賞・優秀賞受賞企業（広く開発型の企業を育成するため）
- ②次のいずれかに該当する者は大企業とみなし、申請対象となりません。
 - ・ 大企業が単独で発行済株式総数又は出資総額の 1/2 以上を所有又は出資している場合
※ただし中小企業投資育成株式会社、投資事業有限責任組合については、大企業として取り扱わない
 - ・ 大企業が複数で発行済株式総数又は出資総額の 2/3 以上を所有又は出資している場合
 - ・ 役員総数の 1/2 以上を大企業の役員又は職員が兼務している場合

4. 対象製品・技術

平成 24 年 8 月 1 日から平成 29 年 7 月 31 日までに開発された新製品・新技術で以下の項目すべてに該当するもの

- ① 中小企業又は中小企業グループが自ら、あるいは大学・公的機関等との共同開発により開発したもの
- ② 取引実績がある、又は実用に供されているもの
- ③ 大田区の産業の技術力、開発力の向上に貢献すると思われるもの

<補足>

前述の項目に加え、以下の場合も対象となります。

- ・ 試作品であっても技術的に完成しており、将来的に市場の開拓が期待できるもの
- ・ これまで本コンクールに応募したものであるが、販売実績等が著しく向上したもの

5. 申請方法

(1) 提出書類

- ① 申請書 (必須: 14部 ※参考資料を含む)

※ダウンロードはこちら: <http://www.pio-ota.jp/>

<記載にあたって>

- ア) 必要に応じて、参考資料(写真・動画・技術説明書・カタログ・試験データ・特許関係書類等)を添付してください。(特許関係・動画は審査上必要とする場面が多いため、なるべくご提供をお願いいたします。)
- イ) 申請書の枚数は、前述の参考資料と併せて【A4両面印刷で20枚以内】を厳守してください。
- ウ) 動画は応募する新製品・新技術の特徴が3分程度でわかりやすく映像化されたものとし、CD-R・DVD-Rのいずれかに記録しご提出(1枚)して下さい。
- エ) 申請書の枠は自由に拡張していただいて構いません。
- オ) 文字サイズ、フォント、行間は自由に変更していただいて構いませんが審査員が読みやすいように工夫をしてください。
- カ) 申請書は第三者にも理解できるよう、明瞭かつ具体的にご記載ください。
- キ) 申請書はカラー・モノクロのいずれでも構いません(モノクロで判別が困難なものは、カ

- ② 会社概要 (任意: 14部)

<中小企業グループの場合>

中小企業グループ(大学・公的機関等との共同開発を含む)による申請の場合、前述の①②に加え、以下の資料をご提出ください(①の枚数制限からは除外)。

- ③ 構成メンバーが明らかになるもの(共同研究契約書等)の写し(1部)
- ④ 各構成メンバーからの申請についての同意書(1部)

(2) 提出先

提出書類を募集期間内（7月3日～31日）に以下へ直接持参または郵送（当日消印有効）

(公財) 大田区産業振興協会 ものづくり・イノベーション推進課 イノベーション創出担当
住所：〒144-0035 大田区南蒲田1丁目20-20 大田区産業プラザ PiO 3F
TEL：03-3733-6294 FAX：03-3733-6493 MAIL：innovation@pio-ota.jp



(3) その他

- ① ご提出いただいた書類は返却いたしません。また、いただいた書類は全て審査の資料となりますので、予めご了承ください。
- ② ご提出いただく14部は全て審査用の資料として使用いたします。恐れ入りますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

6. 審査

(1) 面接審査

平成29年8月下旬～9月上旬の日時を指定し、申請いただいた新製品・新技術について、30分程度の面接審査を実施します（日時・場所は8月中旬までに連絡）。

面接審査では、製品・技術等の実物または動画によるデモを行っていただきます。

(2) 本審査

学識経験者等から構成される審査会で厳正な審査を行い、各賞を決定します。

7. 表彰

審査会において、申請された新製品・新技術の中から特に優秀なものを選定し、開発した中小企業・中小企業グループを表彰します。

(1) 各賞

- ① 最優秀賞：1件（副賞30万円）
- ② 優秀賞：2件（副賞10万円）
- ③ 奨励賞：6件（副賞5万円）

(2) その他

- ① 表彰式は「第 22 回おおた工業フェア」初日（平成 30 年 1 月 31 日）に行います。
- ② 受賞した案件は企業名及び製品・技術の概要を当協会 HP 等で公表します。予めご了承ください。
- ② 最優秀賞は審査により「該当無し」とする場合があります。
- ③ 奨励賞は審査により、以下の賞とする場合があります。

各賞	内容
おおた福祉・医療賞	福祉・介護・医療分野において、大田区中小企業らしい基盤技術を活用し、新規性・市場性が認められるもの
おおた ECO 推進賞	大田区中小企業らしい環境への配慮がなされ自然環境保護を推し進めるものであり、新規性・市場性が認められるもの
おおた秀逸技能賞	大田区中小企業らしい職人の技を活用しており、新規性・市場性が認められるもの
おおたネットワーク賞	2 社以上の大田区中小企業が連携することで、初めて生まれた複合技術であり、新規性・市場性が認められるもの
特別賞	審査会において、特に表彰に値すると判断されるもの

8. 受賞特典

各賞を受賞された企業は、以下の特典があります。

(1) 「おおた工業フェア」への無料出展

大田区産業プラザにて開催される「第 22 回おおた工業フェア」（平成 30 年 1 月 31 日～2 月 2 日）に無料で出展することができます。

また、同フェアにおける「コンクール受賞記念 入賞新製品・新技術プレゼンテーション」（1 月 31 日午後）で、1 社 10 分程度のプレゼンテーションを行うことができます。

(2) お好きな展示会への無料出展

平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月までに開催されるお好きな展示会（1 つのみ）へ、褒賞出展として無料で出展（原則 1 小間分）することができます。

(3) 当協会広報誌・新聞等での広報

受賞企業や製品・技術等について、当協会広報誌や新聞等で発表を行うとともに、公的機関等が実施する各種コンクールや支援事業（補助金等）に対する推薦・申請支援を行います。

<注意>

- ① 「(1) (2)」の展示会出展に関し、搬出入費用等、その他の経費は自社負担となります。
- ② 「(2)」について、本事業の予算内で支援をさせていただくため、受賞決定後、担当と調整をさせていただきます。

Ⅱ. 申請書記載例

<記載にあたって>

- ア) 必要に応じて、参考資料（写真・動画・技術説明書・カタログ・試験データ・特許関係書類等）を添付してください。（特許関係・動画は審査上必要とする場面が多いため、なるべくご提供をお願いいたします。）
- イ) 申請書の枚数は、前述の参考資料と併せて【**A4両面印刷で20枚以内**】を厳守してください。
- ウ) 動画は応募する新製品・新技術の特徴が3分程度でわかりやすく映像化されたものとし、**CD-R・DVD-R**のいずれかに記録しご提出（1枚）して下さい。
- エ) 申請書の枠は自由に拡張していただいて構いません。
- オ) 文字サイズ、フォント、行間は自由に変更していただいて構いません審査員が読みやすいように工夫をしてください。
- カ) 申請書は第三者にも理解できるよう、明瞭かつ具体的にご記載ください。
- キ) 申請書はカラー・モノクロのいずれでも構いません（モノクロで判別が困難なものは、カラーをお勧めします）。

<注意>

記載されている内容はあくまで参考例であり、入賞を保証するものではありません。各製品・技術に応じ、創意工夫した内容でご記載ください。

第 29 回大田区中小企業新製品・新技術コンクール 申請書

申請者について			
申請者情報	【会社名】 株式会社****	応募担当者（連絡窓口）	
	【所在地】 東京都大田区****-**-****	氏名	****
	【代表者役職・氏名】 代表取締役 ****	所属	****部****課
		電話	****-****-****
		FAX	****-****-****
		Mail	****@****.****.****
情報	企業グループでの申請の場合、構成メンバーを下記に記載。（各構成メンバーの同意書を別途添付）		
	①【会社名】	【所在地】	
	②【会社名】	【所在地】	
	③【会社名】	【所在地】	
申請資格	【大田区での事業開始年月】 S. ****年 ****月	【資本金】 ****万円	
	【業種】 ****業	【従業員】 ****名	
企業情報	事業概要		
	<p>当社は****年に創業し、****分野における****の事業を展開してきた。顧客からは****と****において高い評価を受け、特に****は****</p> <p>こうした事業を行ってきた中で培った****が当社の強みであり、****既存の事業分野のみならず、技術力を活かして****という取組も進めている。</p>		
	営業品目		
	<ul style="list-style-type: none"> ****の製造販売 ****の加工、研究 		
	過去の主な開発実績（既開発製品・技術の名称）		
<ul style="list-style-type: none"> 三次元測定機 AA-10 NC工作機 BB-20 			
過去の受賞歴等			
<ul style="list-style-type: none"> ****コンクール****賞（****省） ****コンテスト****省（****財団） 			

応募の新製品・新技術について

名 称 *****

開発時期 平成**年**月ごろ（開発の完了時点をご記入ください）

概要・用途

開発した*****は.....における*****での使用をするものである。仕組みとしては*****が*****となっており.....。

具体的な使用シーンとしては.....であり、使用方法は.....

.....

必要に応じ、別添で製品パンフレット等を付けていただくことが可能です。

写真（説明図）貼付欄

写真1

写真2

必要に応じ、別添で必要な画像・動画（CD-R・DVD-R）等を付けていただくことが可能です。

概要図面

図面

.....
.....

必要に応じ、別添で図面等を付けていただくことが可能です。

新規性

開発した動機・目的・必要性など。また、従来品と比較した際の新しい着想、創意工夫を積み上げた点があれば併せてご記入ください。

この製品が求められる背景としては*****という課題があり、*****が望まれていた。.....

これについて*****を強みとする当社は、.....であり*****を活かした開発がでないかと考え.....

また開発品は*****に取って代わるものであると想定され、.....という必要性から市場性も高いと考えられた。製品の開発は当社の成長だけでなく、*****においても.....

.....
.....

必要に応じ、別添で資料等を付けていただくことが可能です。

優秀性

新製品・新技術が優れている点（品質・信頼性・性能・機能・特徴など）。

これまで市場で大きなシェア占めていた***の***は、性能面では***、価格面では***というものであった。これに対して今回開発した****、.....と圧倒的な優位性がある。

<比較表>

.....
.....
.....

特に既存品と明確に異なる点は.....であり、*****において優位性がある。この実現のためには.....を研究し、***の達成を可能にしたことで.....

また、本製品の特徴は***であり、.....

.....

必要に応じ、別添で資料等を付けていただくことが可能です。

他社の類似製品

会社名： *****株式会社

製品名： **-* (通称：*****)

価格： *****円

新製品・新技術に係わる特許、実用新案・意匠等（出願中のものを含む）

※出願の種別、名称、月日、番号等を記入し、出願書類又は公報の写しを添付してください。

①特許：第*****号

②意匠：第*****号、*****号

③商標：第*****号

.....
.....

必要に応じ、別添で出願資料等を付けていただくことが可能です。

法的な規制等への対策

当製品は*****に関する法律の*****に該当するため、*****の申請を済ませ、既に承認を得ている。また、顧客からの信頼性確保のため.....にも取り組んでいる。

市場性

市場・経済性：需要動向、採算性、販売体制・計画など

分野は年円規模の市場があり、今後は*****となっていくと予想される。既存品では**の機能がないことから潜在的なニーズは*****であるため、今後の販路開拓に向けて.....と考えている。

<グラフ>

.....
.....

また本製品を使用することで、これまで*****であったコストは.....程度にまで削減することが可能であり.....、関連する***分野の市場にも進出が可能である。

顧客ニーズを捉えつつ市場を拡大することで.....

.....

必要に応じ、別添で資料等を付けていただくことが可能です。

販売実績	***件（平成**年**月**日～平成29年6月30日）		
引合件数	***件（平成**年**月**日～平成29年6月30日）		
販売単価	@***, ***円	販売単位	**個

Ⅲ. 申請チェックリスト

チェック項目		確認	
対象者	p.2	大田区内で本社または事業所を1年以上操業している中小企業者であるか。	
	p.2	申請要件外となる項目に該当していないか。	
対象製品・技術	p.3	平成24年8月1日～平成29年7月31日までに開発した製品・技術であるか。	
	p.3	要件として掲げる①～③すべてに該当しているか。	
提出書類	p.3	申請書は『<記載にあたって>』に内容に沿って、不足なく記載がされているか。	
	p.3	参考資料は必要なものが添付されているか。	
	p.3	申請書は参考資料と併せて【A4両面印刷で20枚以内】となっているか。	
	p.3	申請書（参考資料を含む）と会社概要（任意）は14部揃っているか。	
	p.3	中小企業グループの場合、「構成メンバーが明らかになるもの（共同研究契約書）の写し」と「各構成メンバーからの申請についての同意書」が1部揃っているか。	